

家計収支とその構造その1

— (茨城県を取り囲む各県の県庁所在都市) —
— (6市の勤労者世帯の家計比較) —

総理府統計局調査部 酒井忠敏
消費統計課課長補佐

総理府統計局の家計調査による茨城県を取りかこんでいる各県(6県)の県庁所在都市についての年間月平均の家計収支をみると次の第1表のようになっている。46年の実収支とも浦和市が最も多く、ついで水戸市、千葉市の順になっている。

これを40年についてみると千葉市が最も多く、ついで浦和、水戸の順となっていたが、その後千葉市の伸び

が少なく、浦和、水戸が伸びて46年には千葉は第3位になった点が注目される。

次に実収支の差すなわち黒字についてみると前橋市の31千円が最も多く、ついで水戸29千円、千葉、福島28千円、宇都宮25千円となっており前橋市と水戸市、水戸市と宇都宮市との開差はそれぞれ約2千円、4千円となっている。↙

第1表 6市の家計収支(勤労者世帯) (単位 円)

年次	福島市		水戸市		宇都宮市		前橋市		浦和市		千葉市	
	実収入	実支出	実収入	実支出	実収入	実支出	実収入	実支出	実収入	実支出	実収入	実支出
S												
38	51,665	42,427	67,692	50,686	53,472	44,284	47,584	39,872	69,138	56,192	58,901	50,818
39	57,694	46,604	64,909	54,222	64,958	54,108	55,615	46,501	74,078	60,479	74,984	60,354
40	68,032	53,417	70,600	60,526	67,258	54,870	63,818	53,372	74,362	61,145	78,693	67,065
41	74,593	60,807	79,293	65,885	74,140	60,463	68,201	56,404	86,692	71,806	88,817	72,570
42	85,444	68,943	86,917	71,036	81,268	66,513	81,632	64,998	96,368	81,086	89,102	73,285
43	93,000	75,388	91,826	76,668	87,772	71,280	91,475	75,549	101,070	84,377	92,970	79,522
44	97,828	76,348	98,937	81,659	107,369	81,766	102,167	82,236	112,566	90,403	105,107	87,514
45	116,509	93,768	116,677	97,105	115,359	90,284	109,987	92,186	124,058	97,652	123,539	98,500
46	136,208	108,174	139,939	111,178	132,484	107,539	126,934	96,178	142,507	114,367	135,202	109,984

第2表 勤労者世帯の世帯主年齢と世帯員

年次	福島市			水戸市			宇都宮市			前橋市			浦和市			千葉市		
	世帯人員	有業人員	世帯主年齢	世帯人員	有業人員	世帯主年齢	世帯人員	有業人員	世帯主年齢	世帯人員	有業人員	世帯主年齢	世帯人員	有業人員	世帯主年齢	世帯人員	有業人員	世帯主年齢
S	人	人	歳	人	人	歳	人	人	歳	人	人	歳	人	人	歳	人	人	歳
38	4.20	1.49	40.5	4.24	1.40	42.6	4.21	1.50	40.9	4.20	1.56	41.5	4.10	1.42	41.7	4.33	1.60	42.2
39	4.14	1.52	40.7	4.26	1.38	42.5	4.08	1.52	41.2	4.25	1.60	41.2	4.03	1.39	41.1	4.12	1.62	39.5
40	4.12	1.50	39.4	3.99	1.55	42.2	4.30	1.65	40.8	4.04	1.73	42.5	3.91	1.43	40.6	4.26	1.65	40.9
41	4.09	1.39	40.5	3.99	1.45	41.7	4.03	1.59	40.6	3.94	1.64	42.0	4.03	1.41	40.5	4.19	1.51	40.8
42	4.14	1.49	42.6	3.88	1.50	42.0	3.91	1.63	39.5	4.06	1.55	42.1	4.02	1.51	42.0	4.12	1.59	40.6
43	3.92	1.49	40.1	4.05	1.52	41.5	4.06	1.74	41.0	4.14	1.73	43.0	3.92	1.51	39.7	4.04	1.56	40.2
44	3.87	1.46	38.8	3.89	1.55	41.8	3.82	1.74	39.8	4.10	1.77	44.3	3.85	1.44	38.9	3.87	1.57	39.9
45	3.96	1.44	40.9	3.86	1.38	41.2	3.87	1.77	40.0	3.94	1.77	43.7	3.87	1.35	39.0	3.99	1.56	40.3
46	4.06	1.69	42.8	3.90	1.51	44.0	4.06	1.65	39.6	3.90	1.73	42.7	3.78	1.35	40.0	4.02	1.50	40.4

↙実収支の大きさを比較するときには注意すべきことは世帯人員、有業人員の増減が影響することである。世帯人員が増えることは消費支出の増大につながり、有業人員の増加は収入の伴う仕事に従業する者が多くなることであり、実収入の大きさないしその構造に反映すること↗

↗になる。
世帯人員をみると浦和市と前橋市は減少しているが、千葉市と福島市は43年まで減少傾向をたどったが、44年以降は逆に増加している。水戸市についてはほぼ横ばいである。有業人員では浦和市、千葉市の減少が目立っ↗

統計ニュース

◇ 10月の主な行事 ◇

- | | | | |
|---------|-------------------------|---------|----------------|
| ○5～6日 | 工業統計調査関東甲信静ブロック会議 | ○25～31日 | 労働力特別調査実施 |
| ○12～13日 | 家計調査(貯蓄動向調査)関東甲信静ブロック会議 | ○26日 | 全国統計大会 |
| ○18～19日 | 生産動態統計調査関東甲信静ブロック会議 | ○30～31日 | 工業・商業調査実務担当者会議 |
| ○19～20日 | 物価統計調査調査員研修 | ○〃 | 北関東4県県民所得研究会 |

■ 第23回 全国統計大会の開催 ■

第23回全国統計大会は、10月26日(木)、福島市・福島文化センターで開催されます。

開催要領は次のとおりですが、現在のところ、本県からは96人の関係者が参加する予定です。

- 1 主催 財団法人全国統計協会連合会
- 2 後援 東北・北海道地方1道8県, 関係各省庁, 福島県統計協会, 福島市, 全国知事会, 全国市町村会
- 3 協賛 国鉄, 経団連, 日本商工会議所等
- 4 行事

- (1) 大内賞授与
- (2) 各省庁大臣表彰
- (3) 全国統計協会連合会会長表彰
- (4) 議事
- (5) 体験発表
- (6) 大会宣言
- (7) 記念講演
- (8) アトラクション

5 付帯事業 第20回統計グラフコンクール入選作品の展示

ている。

46年になって実収支で水戸市が千葉市を追いこしたのは、水戸市の世帯人員が45、46年と横ばいに近かったにもかかわらず、有業人員はぐんと伸び、一方、千葉市では世帯人員が増えたのに、有業人員は逆に減少したことを反映しているものと思われる。

平均消費性向と限界消費性向

実収入から非消費支出を控除した残りである可処分所得(手取り収入)に対する消費支出の割合、すなわち「平均消費性向」をみると、各市とも低率化し「平均貯蓄性向」が拡大している。

46年についてみると、前橋市が最も小さく73.9%、

千葉市が79.7%と最も大きくその差は5.8ポイントとなっている。38年は水戸市が最も小さく、最大の千葉市との開きは13.5ポイントもあったが、46年ではその差が縮小されて各市の消費性向が似てきたようである。

次に可処分所得の増分と消費支出の増分の割合である「限界消費性向」をみると、この数字が100を越えている年次があるが、これは可処分所得の増分よりも消費支出の増分の大きいことを示していて、習慣的に消費する「消費の惰性」、または一たん上げた生活レベルはなかなか下げられないという「消費の下方硬直性」の表われとみられる。宇都宮市にそういう傾向がみられるようである。浦和市の限界消費性向はつねに100を下回っていて注目される。

第3表 勤労者世帯の消費性向 (単位%)

年次	福島市		水戸市		宇都宮市		前橋市		浦和市		千葉市	
	平均消費性向	限界消費性向	平均消費性向	限界消費性向	平均消費性向	限界消費性向	平均消費性向	限界消費性向	平均消費性向	限界消費性向	平均消費性向	限界消費性向
38	80.5	—	72.2	—	81.2	—	82.6	—	79.3	—	85.2	—
39	78.8	63.3	81.9	△179.1	81.6	83.3	82.3	80.5	79.8	86.3	78.9	55.3
40	76.1	59.8	84.3	112.3	79.9	42.8	82.2	81.3	80.3	△15.8	83.6	302.8
41	79.5	113.8	81.2	53.6	79.7	77.3	81.1	66.0	80.8	84.1	79.7	52.2
42	78.5	71.6	79.9	67.8	80.0	83.6	77.7	59.8	82.3	95.5	84.6	169.6
43	79.1	85.1	81.8	115.7	81.6	105.3	81.0	107.8	81.4	60.1	84.3	155.4
44	75.8	12.9	81.1	72.8	74.3	46.1	78.7	60.1	78.1	52.8	81.9	64.8
45	78.4	92.5	81.6	84.7	76.5	107.5	82.5	127.1	76.7	64.0	77.9	52.6
46	77.3	70.4	77.3	55.6	79.5	100.9	73.9	19.5	78.1	88.6	79.7	98.4

(次号に続く)